

## 早鞆高等学校のルーツは貴船町にあった

上田中町の早鞆高等学校は、生徒・教職員千名余、8学科と今や県下でも有数の私学の高校で、百二十年の歴史を刻んでいる。そのルーツは北浦街道筋の貴船町の通称「桃ヶ丘・吉見山（現貴船一丁目・山口合同ガス本社の上辺り）で産声を上げた。

明治34年（1901）教育者の阿部ヤス先生が教師の傍ら、自宅で家塾を興す。教えを乞う子女が増え続け、華道・茶道・裁縫と中広く指導。郷里から母親を呼び寄せ教導したとのこと。家塾を始めて10年後の明治44年（1911）高等小学校教諭を退職、翌年の明治45年（1912）山口県知事へ繰り返し申請していた学校創設が認可され、「下関阿部裁縫女学校」の開校が実現。

その後、大正13年（1924）「下関阿部高等技芸女学校」と改称。昭和20年（1945）の下関空襲で桃ヶ丘の校舎は焼失したが、養治小学校、貴船町の陸軍の馬小屋を借りて授業を続けた。昭和21年（1946）「早鞆高等女学校」と改称。昭和23年（1948）「財団法人早鞆学園」を設立、「早鞆高等女学校」を設置。その後、昭和25年（1950）に現在地に校舎着手。昭和26年（1951）「学校法人早鞆学園」を設立。併せて「早鞆高等男子部」を創設し、現在の隆々たる学校に繋がっていると早鞆高校百年史に記載されている。

創設当初の貴船町桃ヶ丘での学校跡地と周辺は、市営住宅となり現在では住宅地となっているが、当時の学校正門に繋がる階段は今も当時の面影を残している。（下記写真参照）

私たちが生活している地域では時が経つにつれ、とかく「そもそも」「最初に井戸を掘った先人の偉業」を忘れがちになる。時折先人達の意とするルーツに触れる機会を持つことが、将来を生きる私たちに一筋の光明になるかも知れない。これぞ温故知新です。機会があれば古を偲び貴船町桃ヶ丘を訪れてみませんか。早鞆高等学校は長い歴史の中で、著名な方を輩出されており、これからも一層発展されることでしょう。

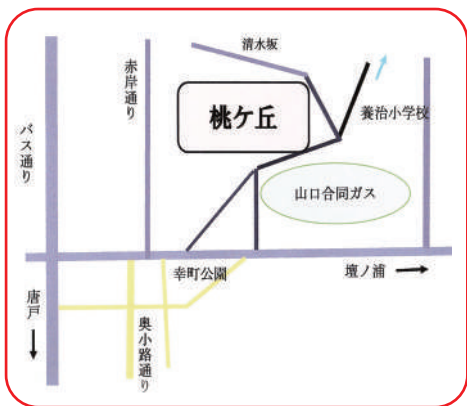


阿部ヤス先生

【引用資料：早鞆百年史・下関市立中央図書館に置いてあります。関心をお持ちの方は図書館に行ってみてください】



桃ヶ丘の校舎（大正15年増築落成）



レンガ造りの階段も↑  
↑正門に繋がる階段・石造

現在の早鞆高等学校→

